



J M R C 東北 1 1 - 0 1 2

第 1 5 1 回 J M R C 東北運営委員会

議 事 錄

日時：2011年8月21日（日）10：00～13：30

会場：一関市総合体育館 1F会議室（岩手県一関市）

議案：1号 第150回議事録（案）の確認

2号 J M R C 全国協議会よりの支援金について

3号 その他

報告：1. 全国協議会 2. 専門部会 3. 各支部会 4. その他

出席者：佐藤委員長（宮城）仲野副委員長（山形）鶴ヶ谷委員・古川委員（青森）伊藤委員（岩手）高橋委員・山本委員（秋田・ラリー部会長）、植松委員（山形）高橋委員（レース部会長）加藤委員（審査員部会長）小野事務局長

遅れて、菅野委員（福島）藤村顧問

議事録 佐藤委員長が議長で会は進行した。事務局より委員の出欠の報告がなされた。

議案1、出席委員により確認が行なわれ、一部訂正がなされ承認された。

委員長より、報告事項を先にとの提案があり各部会報告を行った。

全国協議会：小野副委員長より、全国協議会より J M R C 東北の活動を支援する目的で支援金を送ることが決定したこと、支援金は各地区より 7月末までとしたこと、義援金でなく支援金にしたことが報告された。

ラリー部会：山本委員長より、振興事業委員会報告がなされ東北で開催されるオールスターに付いての報告、ラリー競技で起きた事故の内容報告がなされた。ラリー共済の改定が提案説明され、承認された。

ジムカーナ部会：伊藤委員長より、今年の P N クラス等の現状報告と来年度に向けて車両規定等について部会で決めたいことが報告され 9月 4日に部会を開くことが報告された。

ダートトライアル部会：柳本部会長が全日本に参加の為欠席なので部会関係者に報告をお願いすることとした。

レース部会：高橋部会長より、震災の影響でハイランドが大会を中止したことと S U G O が 1 大会のみの開催になったこと、来年は地元のレースを見合わせる事になることもありうること、9月にハイランドと協議する事、F 4 の開催が無くなるかもなどの報告がなされた。

審査員部会：加藤部会長より、この秋には来年度の活動計画を立てたいことが報告された。

事務局：小野事務局長より、クラブの更新状況報告、賦課金等の収入が激減していることが報告された。 J A F との合同のモータースポーツ表彰式の開催を J A F 側が希望していることが報告された。

続いて支部会報告が求められた。

宮城支部：佐藤支部長より、8月 19 日の支部会で支援金に対しての要望があったこと（内容報告）、冬に仙台ハイランドにてスノートライアルを開催したいので J M R C 東北のイベントに加えてほしいことが報告された。

秋田支部：今年開催される県シリーズの日程と会場の報告、協和に付いては 8月末に一定の結論が出ること等が報告された。

議案2、最初に委員各位の意見が求められ多くの意見が出され、一旦休憩とした。再開後、意見の取りまとめをおこなった。まず、個人に充てることは資金が不足する事と支援の範囲を絞ることが難しいこと等が挙げられ、クラブ単位で支援することとした。 J M R C シリーズ・ J A F の選手権が成立したこと、 J A F 側が開催を要望していること、一年のけじめをつける事、 J M R C 東北の大きな柱であることを考え表彰式の開催を決め、その補助に充てることとした。 J M R C 東北の資金が厳しい状態が複数年続くと考えられるので支援も複数年にわたって行う事とした。 今年度は大会支援を中心に、次年度以降は主催クラブや施設オーナーの支援も検討された。 支援は 3 ~ 5 年程度継続して行うべきという意見が多く当面 3 年を目処とした。以上取りまとめて総会に提案することとした。尚、簡単な規定を決めた。

議案3、 J M R C 東北のイベントを開催してはとの提案があり、検討することとした。

続いて臨時総会が行われるので一旦会は、議長により閉会が宣言され閉会した。

2011年8月21日

議長 佐藤栄一